

同定依頼検査よりみた千葉県におけるクモの被害 (平成3年度～平成10年度)

角田 隆、藤曲 正登

Survey of patients with complaints of spider bites in Chiba Prefecture
(April 1, 1991 - March 31, 1999)

Takashi TSUNODA and Masato FUJIMAGARI

I はじめに

平成7年11月に大阪府高石市において国内で初めてセアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii* Tholell の生息が確認された¹⁾。その後、同種の生息は和歌山県、三重県でも確認された¹⁾。これまでに千葉県内では外国産のクモの生存は確認されていないが、帰化したクモによる県内への侵入や定着は今後起こり得る問題である。そのため、外国産のクモの侵入が確認される前にクモ類に関する被害を集計しておくことは意味があると思われる。我々は平成3年度より平成10年度までに、保健所などの医療機関を通じて当研究室に持ち込まれたクモ類に関する同定依頼検査を集計した。

II 検査方法

クモの同定は八木沼²⁾、西川、加村³⁾にもとづき実体顕微鏡下で行った。

III 成績及び考察

平成3年度から平成10年度まで8年間の依頼件数は28件であった(表1)。平成3年度から6年度までは年間0～1件であったが、平成7年度より依頼件数が年間5～6件に増加した。月別にみると依頼は6月から9月にかけて多いが、平成7年度には依頼が11～12月に多かった。被害別にみると毒グモの疑いをもっとも多かった。これらの結果は平成7年度のゴケグモ騒動により県民のクモに対する関心が高まったためであると考えられる。種類別にみると毒グモと疑われた種ではオオヒメグモ *Theridion tepidariorum* C. Koch がもっとも多かった。

毒グモの疑いに次いで多かった依頼はクモ咬傷であった。クモによる咬傷は6件であり、依頼を受けた種はコマチグモ属が5件、フクログモ科が1件であった。コマチグモ属による被害のうち1件はアシナガコマチグモ *Chiracanthium eutittha* Bosenberg et Strand であった。国内には8種のコマチグモ属が生息⁴⁾、このうちカバキコマチグモ *Chiracanthum japonicum* Bosenberg et Strand による重篤な刺咬例が記録されている⁵⁾⁶⁾⁷⁾⁸⁾。今回の被害のうち1件は、患者が咬傷後呼吸困難に陥るなど重篤であったことから、カバキコマチグモが原因として疑われた。コ

マチグモ類に咬まれた状況のうち3例は草刈り中の咬傷であった。クモ咬傷に対する対策として、大利⁹⁾が提示するようにカバキコマチグモを直接手でとらえないことや、ちまき状の産室を見ついたら触れないことなどを住民に啓発する必要があると思われる。

不快虫としての依頼は3件であり、すべてアシダカグモ *Heteropoda venatoria* (Linnaeus) であった。アシダカグモが原因虫として持ち込まれた事例には、海外旅行から帰った住民が外国からのクモの持ち込みを危惧して依頼したケースが1件見られた。

IV 謝辞

検体を提供していただきました各保健所の環境衛生班の皆様ならびにその他の医療機関の皆様へ感謝します。

V 参考文献

- 1) 吉田政弘 (1998): セアカゴケグモの分布と生態, セアカゴケグモの調査報告書 (大阪府立公衆衛生研究所編), p1-13, pp65
- 2) 八木沼健夫 (1960): 原色日本蜘蛛類大図鑑, 保育社 (大阪市), pp186
- 3) 西川喜朗, 加村隆英 (1991): クモ目, 日本産土壌動物検索図説 (青木淳一編, 東海大学出版会 (東京), pp201+fig40
- 4) 西川喜朗 (1993): 日本産野生生物目録(2) 節足動物門: クモ綱・クモ目, 日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-無脊椎動物編 I (環境庁編, 財団法人自然環境センター (東京), pp106
- 5) 斎藤一三, 飯田利彦, 林正高 (1969): 蜘蛛刺咬症の1例, 衛生動物 20(4): 260-261
- 6) 中村譲 (1975): クモ咬傷の2例, 衛生動物 26(1), 65
- 7) 大利昌久 (1975 a): クモ刺咬症の10例について, 衛生動物 26 (2・3), 83-87
- 8) 大利昌久 (1975 b): わが国の有毒蜘蛛, カバキコマチグモ *Chiracanthum japonicum* の病害と生態に関する研究1. カバキコマチグモ *Chiracanthum japonicum* による刺咬症の11症例について, 衛生動物 20(4): 225-229
- 9) 大利昌久 (1976): わが国の有毒蜘蛛, カバキコマチグモ *Chiracanthum japonicum* Bosenberg et Strand, 1906 の病害と生態に関する研究2. カバキコマチグモの生態, 衛生動物 27(2): 181-188

表1. 真性クモ類同定依頼検査結果(平成3年度～平成10年度)

年月日	依頼者の住所	種	依頼内容
H03/06/07	千葉市*	コマチグモ属の1種	刺咬症
H05/06/21	千葉市*	コマチグモ属の1種	刺咬症
H07/12/04	八日市場市*	真蜘蛛亜目の1種	セアカゴケグモ疑い
H07/11/28	市原市	ネコハグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/12/15	船橋市*	ホラヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/12/15	船橋市*	オオヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/12/25	富浦町	ニシキオニグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/12/25	松戸市	オオヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/11/30	木更津市*	センショウグモ	セアカゴケグモ疑い
H07/11/30	木更津市*	オオヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H08/02/06	君津市	ハンゲツオスナキグモ	セアカゴケグモ疑い
H08/02/26	船橋市*	オオヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H08/05/24	船橋市	イエユウレイグモ	セアカゴケグモ疑い
H08/05/30	木更津市*	ヒメグモ属の1種	セアカゴケグモ疑い
H08/07/03	富浦町	コマチグモ属の1種	刺咬症
H08/07/18	佐倉市*	コマチグモ属の1種	
H08/07/24	柏市	ヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H09/03/25	富津市	コモリグモ科の1種	刺咬症
H09/06/05	木更津市*	コマチグモ属の雄	
H09/06/24	佐倉市	コマチグモ属の雌	刺咬症
H09/07/04	千葉市*	ヤマシロオニグモ	
H09/08/06	茂原市*	コマチグモ属の雄	
H09/08/13	千葉市*	オオヒメグモ	セアカゴケグモ疑い
H10/06/05	松戸市	アシナガコマチグモ雄	刺咬症
H10/09/01	市原市*	アシダカグモ	
H10/09/16	千葉市*	アシダカグモ	室内発生
H10/09/22	佐倉市	アシダカグモ	国内持込みの疑い
H11/01/29	八日市場市*	アシダカグモ	室内発生

* : 仲介した機関の所在地